

編 集 後 記

2021年度から「臨床神経学」の編集委員を担当している国立長寿医療研究センター放射線診療部の櫻井圭太です。編集委員として「臨床神経学」に投稿される原稿を拝見する機会に恵まれていますが、伝統ある機関誌に相応しい内容が多く、目から鱗が落ちる気持ちで学びを得ています。これも若手を中心とした第一著者及び指導医の先生方の努力の賜物であることは間違いなく、臨床業務で忙しい中で原稿の作成及びその後の指導に頭が下がる思いです。

「臨床神経学」は和文での投稿が中心であることは皆様の御存知の通りですが、英文誌と同様の投稿形式に加え、執筆要綱、神経用語集など論文作成を行う際に参考になる項目がホームページ (<https://www.neurology-jp.org/Journal/toukougitei/index.html>) に判りやすく記載されています。これは特筆すべきことであり、脳神経内科の教育体制のレベルの高さを反映している、と感じています。論文作成を行う上で非常に参考になる内容ですので、若い先生方は論

文作成を行う前に一度確認してみたいかがでしょうか。

「臨床神経学」はPubMedに掲載され、国内のみならず世界に情報を発信することが可能なplatformです。一つの症例から得られた「気づき」を世界に発信することにより、その情報を共有した他の医師と共有し、さらに多く症例の診断や治療に寄与することが可能となります。私も画像診断医として臨床業務に携わっていますので、その中で原稿作成を行うのは容易ではないことは重々承知しています。ただ、自ら情報を発信し、より多くの症例に寄与する機会は日常臨床ではなかなか得難いものです。我が国の臨床レベルの高さを発信することも含め、「ノブレス・オブリージュ」の精神で「臨床神経学」への投稿も検討いただければ、と考えています。

最後に臨床業務で多忙を極める状況でも査読を快諾してくださる先生方に厚く御礼申し上げます。

(櫻井 圭太)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長	小野寺 理	編集副委員長	三澤 園子
編集幹事	石浦 浩之	漆谷 真	杉江 和馬
編集委員	今井 富裕	木下 真幸子	古賀 政利
			櫻井 圭太
柴田 護	下畑 享良	鈴木 匡子	辻野 彰
			坪井 義夫
			中嶋 秀人
			新野 正明

「臨床神経学」	第63巻 第8号	2023年8月1日発行	
編 集 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		一般社団法人日本神経学会
発 行 者	東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル		西 山 和 利
印 刷 所	〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入		中西印刷株式会社

発 行 所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
日 本 神 經 学 会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>